

圓だより

第 50 号

巻頭言

新たな一步を

ホーム長 野田 大燈

謹みまして新年のご挨拶を申し上げます。

現在なごみハウス圓の入所者は偶然にも全員が同い年の男子です。職種は様々ですがみな元気で通勤しており、生活も和気藹藹として今年の「羊年」出発に相応しい新年です。

自立援助ホームを開設して 6 年を迎えますが、開設当初の試行錯誤の苦しみが懐かしくも思い出されます。

自立援助ホーム「なごみハウス圓」の兄弟姉妹施設に情緒障害児短期治療施設「若竹学園」と児童養護施設「亀山学園」、そして公益財団法人「喝破道場」の 3 施設がありますが、同じ児童福祉に関連する施設ではあっても夫々に専門性のある施設です。

なごみハウス圓の開設時の職員配置は、各施設で経験を踏んだ中堅職員を配属し、万全の態勢を敷いた心算でしたが入所者との対応が空回りして疲弊した職員が次々と退職していきました。職員の退職は施設運営上でも大きな痛手ですが、入所利用者にとっても大きな不安であり動揺が起こります。

児童養護施設や情緒障害児短期治療施設での経験があれば自立援助ホームの運営は容易いものと安易に考えておりましたが、児童養護施設は入所者の「養護」が目的であり、情緒障害児短期治療施設は「心理治療」がメインです。

自立援助ホームは名称が示す通り「自立」がキーワードです。やがては自立してアパートを借りて一人暮らしをしなければなりません。そのための支援がホームの任務です。

当初は職員が朝食を作り寝ている入所者を起こして食事を採らせて出勤を促していましたが、幾度起こしても起床しない入所者が居たり、失業してしまっただらぶらしている者もいました。ハローワークの窓口に伴って職探しをするなど行っていましたが「自立」に繋がらないことに気づき、全員に目覚まし時計を配り「自立の訓練として自己責任で起床する」等の改革を行いました。今以って誰一人として自分で起床しない者はいません。

今になってやっと職員も入所者も「自立」の緒に就いたような状況ですが自立援助ホームとして入所者に対して如何に支援していくかを今年目標として取り組みたいと職員一同意も新たに一步を踏み出そうとしております。どうぞ今年も変わらぬご支援を。一了一

旅立/出会い



自立への第一歩として、2年間お世話になったなごみハウス園から職場の寮へと引っ越しを行う時のA君の写真です。荷物の整理を行う中で、今まで園で過ごしてきた日々を思い出す場面が見られました。荷物も多くあり、運ぶのにも一苦労しました。その後、家電製品などを買って新居に運び入れました。

心優しい彼は、今までお世話になった園に肉の差し入れをしてくれました。今までは、周りの人の支えもあり生活ができていた部分がありましたが、こ

れからは自分自身で判断していかなければならない部分が多くなるので、迷った時は周りの人に相談し、一人の大人として立派に成長してもらえるよう職員一同願っています。

「困った時はいつでも連絡してね」と伝えていたので、早速翌日には「郵便届いたんやけど・・・分からんけん教えて」と電話の向こうから懐かしい声が・・・

退園はしたけど、彼のSOSの場所の1つに園が今後も存在できるように頑張っていきたいと思います。



12月9日新しい出会いがありました。ホーム長と一緒に荷物を運んできたB君。自分で決めた入所ですがやはり不安もあり表情はかなり緊張していました。しかし荷物を部屋に運び終わると、表情は一変。やる気にあふれる顔立ちになっていました。

片付けも終わり園の児童と挨拶をかわし晴れて園

の一員になりました。これからは何事も一人で頑張らなくてはいけません。翌々日からは初めての仕事も始まりました。



B君は「不安もあるがやると決めた以上、園で一人前になり自立したい」と話していました。陰ながらでは

ありますが園の児童、職員共々、支えていければと思っています。これから一緒に頑張っていきましょう。



入居者達の様子

・15 歳男児・・・学校ではテストも何とか無事終わり、冬休みを満喫しています。現在バトミントン部からバスケ部が変わり、慣れない部活に悪戦苦闘しながら充実した学校生活を送っています。

仕事では、問題なくこなせています。

1 月の目標 圓の生活ルールを守り、携帯電話が所持出来るよう頑張ります。

・16 歳男児・・・仕事では後輩ができ、以前より責任感が強くなりました。後輩にどのように接したらよいか日々悩んでいます。この経験が今後いい方向に向かえるように援助していきたいと思います。

1 月の目標 先輩として後輩の面倒をきちんとみていく。

15 歳男児…圓に入園し初めての生活に緊張気味でしたが同い年の児童も居るおかげで日に日に生活に慣れてきたようで笑顔も見られるようになりました。「早く一人前になって自立したい」と話していた彼は仕分け作業の仕事に就き毎日頑張っているようです。仕事では毎日覚えることばかりで大変だと話しています。しかし、やりがいがある。とも話してくれました。圓での生活は部屋の清掃が苦手なようで今後は毎日片付けできるように心がけていくようです。金銭面ではしっかりお金の使い方を学び職員と一緒に支援していく事になります。

1 月の目標・・・綺麗な部屋で生活できるように整理整頓を徹底していきます。

職員の部屋

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。

宮脇 景子…ひとつひとつ丁寧に繰り返し

つたえながら

じっくりと真摯に児童に向き合っていきます。

米谷 健太…園生、職員一同今年も頑張りますのでよろしくお願いします。

吉田 寿樹…圓の児童共々今後もよろしくお願いします。

大西 康輔…子どもと一緒に成長できるように日々の業務を精進していきます。

環境 / 圓 農 園

師走と共に寒さがやって来ました。圓農園ではたくさんさんのダイコンの収穫祭ができました。

先ず、右の写真はダイコンで作った夕食です。

メニューは

- ・大根の葉っぱの炊き込みご飯
- ・大根と豚肉の炒め物。
- ・大根のみそ汁。と大根尽くしの夕食です。

子ども達は「これ、圓のダイコン？」

「想像以上にめっちゃおいしい」とおいしそうに頬張っていました。(どんな想像をしていたんだろう…^^;))

そしてある日曜の夕食に冬の定番のおでん。しっかり米の研ぎ汁で大根の灰汁を抜き、圓の大根をふんだんに使ったおでんを食べる事ができました。この写真の鍋いっぱいにおでんの具材があったのですが、さすが男の子、あっという間にほとんどなくなってしまいました。圓農園さん、おいしいダイコンをありがとう。さて、次はそろそろ白菜の収穫の時期です。大地の恵みからなる圓の野菜さん。今年もよろしくお願ひします。



利用状況 1月1日現在 (定員6名)

	15 歳	15 歳	16 歳
男子	1	1	1
女子	0	0	0
就労	調理	建設	建設
学校	定時		

編集後記： 年末年始にはOBも圓に誘い社会人の先輩としてのアドバイスを後輩達に語って頂こうとしたのですが、仕事が忙しいのでまだ予定がたたないとのこと..寒い中頑張っている姿が目には浮かび目頭があつくなりました。彼らの成長に万歳！

ご相談・お問合せ受付

急激な社会変化の中で自立した生活を迫られた青少年の心の拠り所の「家庭」となり社会に適応できるよう生活・就労等の支援をしています。

入居ご希望の方、子育てに関する悩み・不安などをご相談お受けします。まずはお電話にてご連絡ください。秘密は厳守します。



〒761-8053

香川県高松市西ハゼ町 338 番地

TEL (087)813-772

FAX (087)813-7721

ホームページ

<http://nagomi-house.jimdo.com/>

メールアドレス

madoka753@sky.plala.or.jp

発行責任者 野田 大燈